

沿岸定線観測速報 ちば (2021年2月)

千葉丸：2月9～12日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和3年2月26日

黒潮は房総沖を接岸して北東に流れていました (図2)。

水温は、銚子・九十九里海域の0,50mは平年並、それ以外は平年よりやや高め～高めでした (表1)。

(詳細)

水深10mの水温は、九十九里沿岸は13～15℃、それ以外の海域は16～19℃でした (図3)。南に位置する野島埼観測線のC3及び太東岬観測線のC13付近より沖では、表層(水深100m付近まで)に黒潮から波及した18℃以上、塩分34.7以上の水塊が分布していました (図5,6)。また、犬吠埼観測線のK7の500m前後には水温10℃以下、塩分34.2以下の水塊が分布していました (図5,6)。

海面の流れは、ごく沿岸は1ノット以下、黒潮北縁～流軸は2～4ノットの北東へ向かう流れ、それより沖は1ノット以下でした (図2)。

クロロフィル濃度は、犬吠埼や野島埼沿岸は1μg/L程度、それ以外は0.5μg/L以下でした (図7)。

キンメ漁場の底層水温は、勝浦沖、銚子沖ともに概ね前年並でした (図8)。海面の流れは、いずれも3～4ノットの北東へ向かう流れでした。

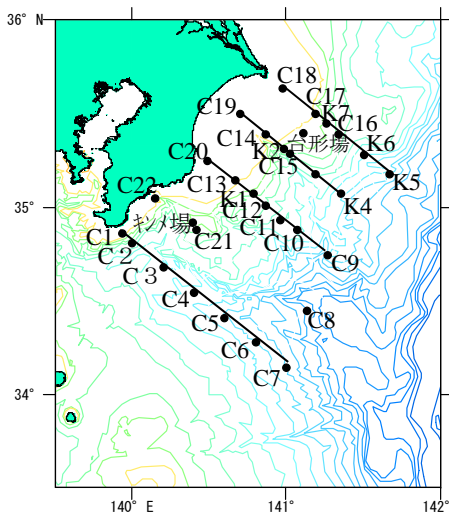


図1 調査点 (K1,2,4,5は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線

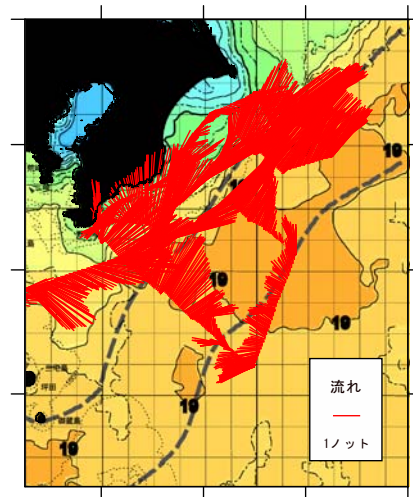


図2 観測時の海況

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	16.7 平年並	16.7 平年並	17.1 やや高め	17.4 高め
外房	17.8 やや高め	17.7 やや高め	17.7 高め	16.8 高め

*水温評価点 (銚子・九十九里海域: C14～20 計7点)
(外房海域: C1, C3, C11, C13, C21, C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安 (σ: 標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

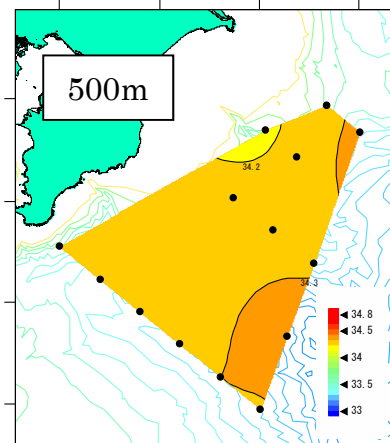
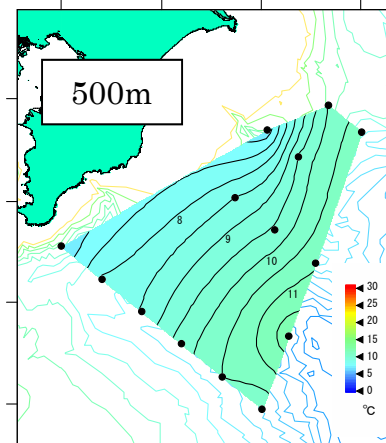
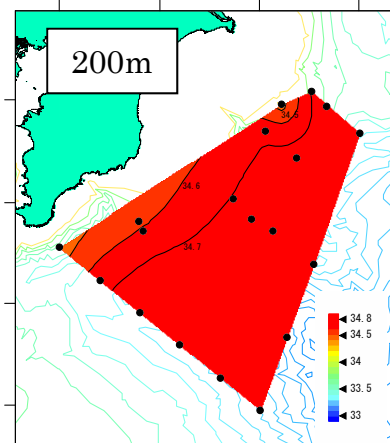
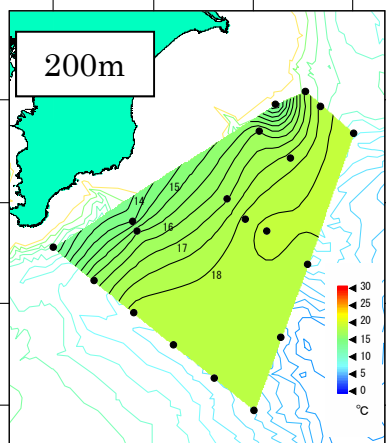
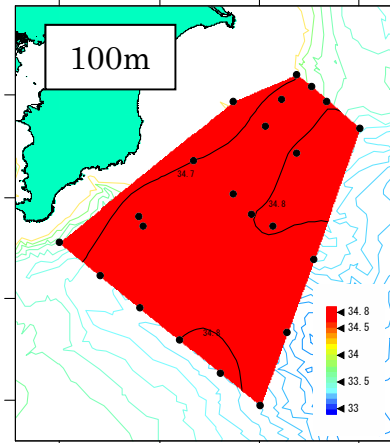
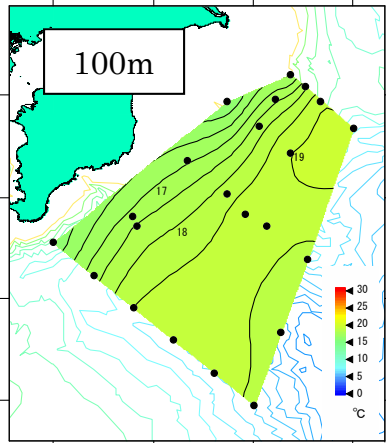
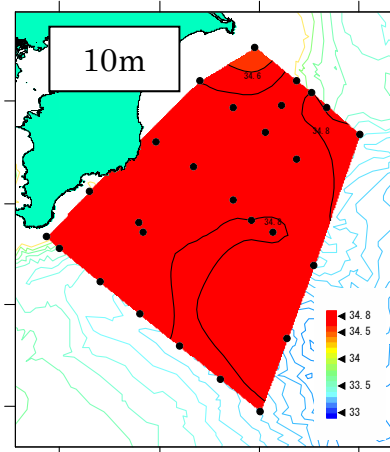
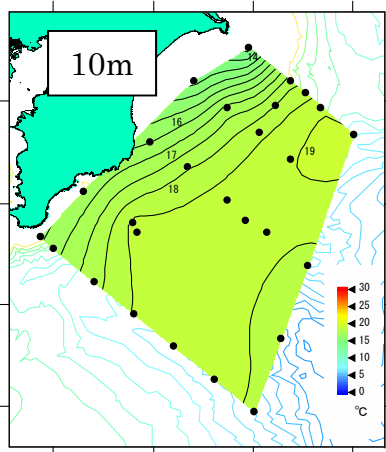


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

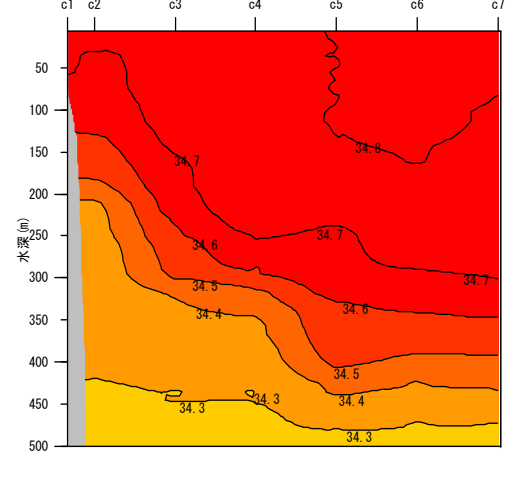
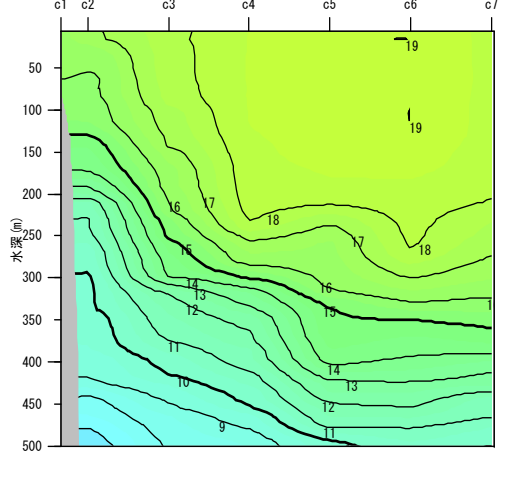
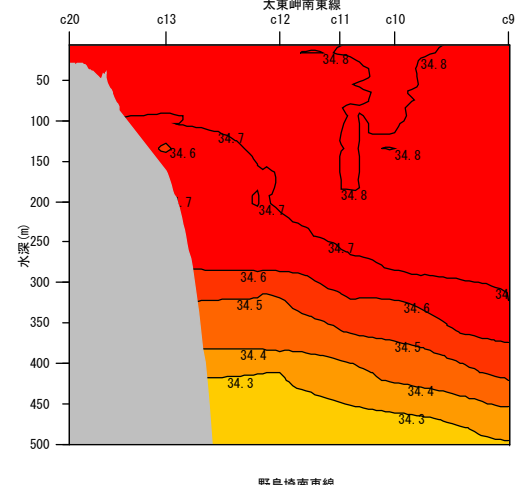
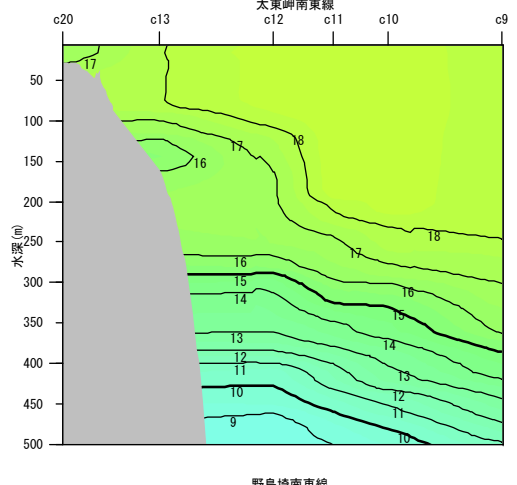
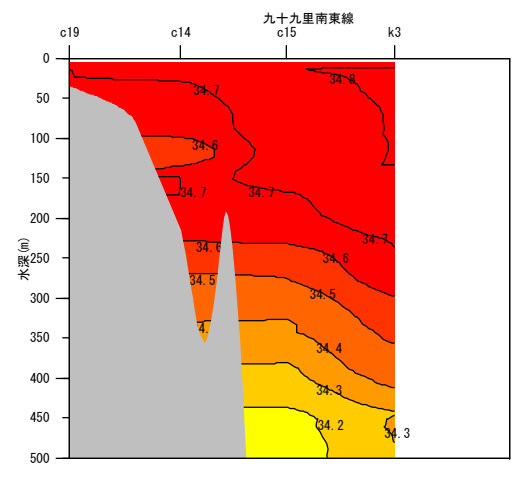
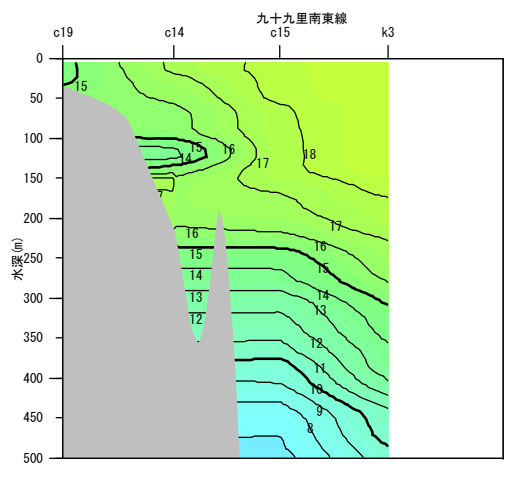
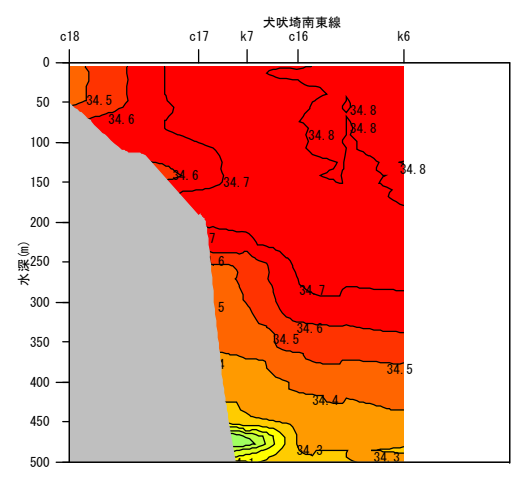
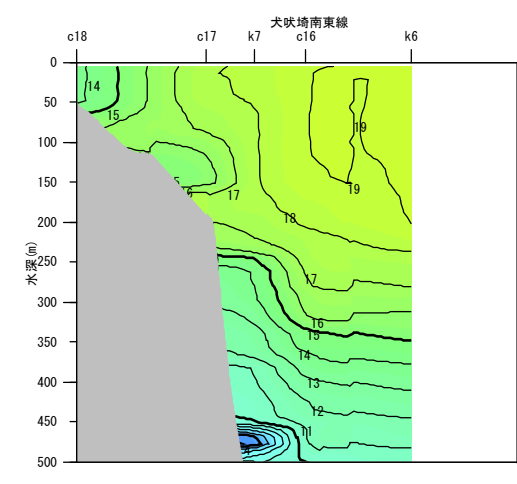


図5 水温鉛直分布
 上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照，空白域は欠測）

図6 塩分鉛直分布

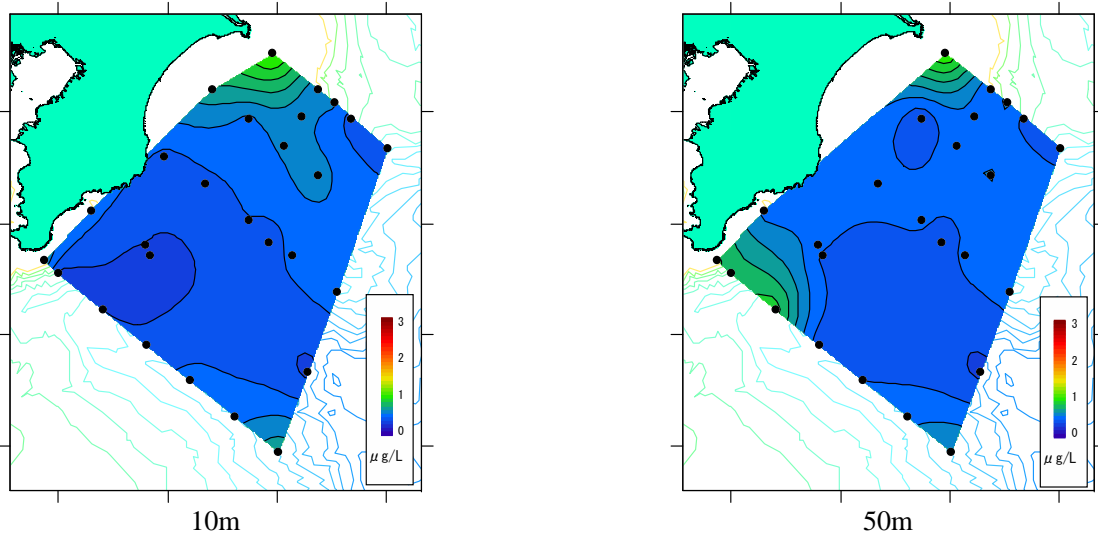
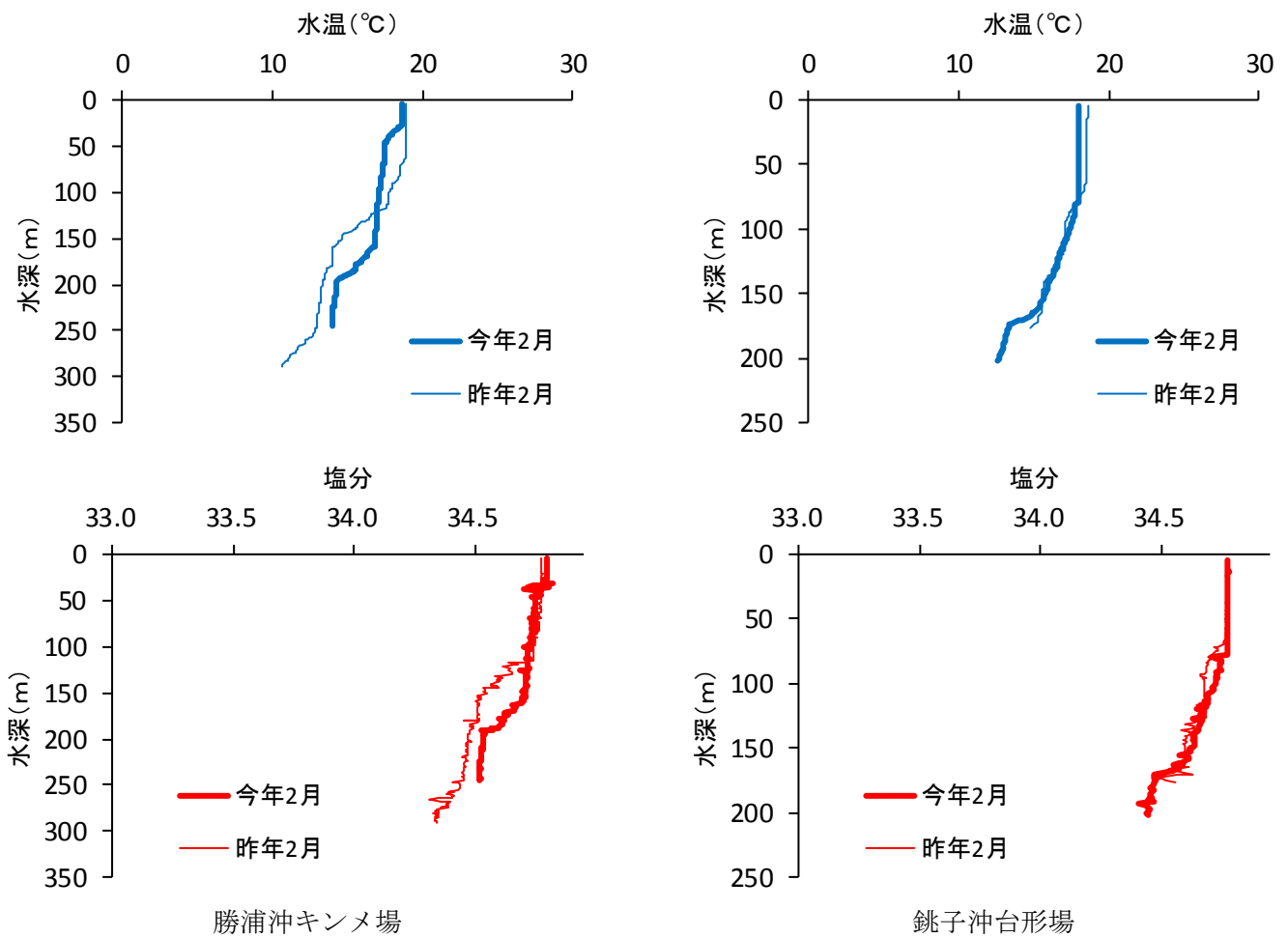


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場 銚子沖台形場
 図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)

<資料> 関東・東海海況速報 (図2; 2月9日分)